



Photo&Text  
**Takaji Ochi**  
 Special Thanks  
**Yap Rize Diving Center**  
 Design Saha

ヤップ島という、  
 ミクロネシアの島の小さな小さな村、  
 ワチュラブ村に日本の子供たちが集まった。  
 「お～し！お前ら～！俺についてこ～い！」  
 いまだガキ大将気分のおじちゃんのドスの聞いた号令の下  
 子供たちは海に、ジャングルに、冒険にでかけた。  
 常夏の南の島は、子供たちにとっては遊びの宝庫。  
 ヤップの自然に囲まれて、子供たちはおもいっきり暴れ回った。





# YAP RIZE KIDS



「おやし〜、子供たちだけのキッズプログラムみたいの、ライズでやりたいんだけど、どんな感じにすればいいかな〜?」そんな質問を投げかけてきたのは、ヤップライズダイビングセンターのオーナーガイドの大ちゃん(絶美大介)。

「どんな感じがいいかなって、やりたいようにやればいいんじゃない。どうせ自分がガキ大将みたいなんだから。第一、俺はお前のおやしじゃないよ」あまり真に受けず、僕はそんな適当な返事を返していたと思う。

そんな会話を交わしたのは、もう1年以上前の話だ。しばらく後、自分の息子たちも含めて8人の年齢もバラバラの子供たちが、この南の島に集合した。下から、2歳、4歳、5歳、11歳、12歳、15歳、16歳、18歳。

まず子供たちが向かったのは、熱帯植物が生い茂る緑のジャングル。トラックの荷台に皆で乗り込み、ワチュラプ村から、隣村のストーンバスへやってきた。バスの周りで、自然に実った果実を見つけたり、傘に出来そうな巨大な葉っぱを見つけては、子供たちは「すげ〜これ食べれるの?」「すげ〜!これ、でっけ〜!」と普段見慣れない物を見つけては歓声をあげる。

「俺についてこ〜い!」と偉そうに言っていた大ちゃんは、「あ、俺の担当は海だけだから、陸はおやしにまかすわ」とリゾートでまったりを決め込む。(何だよ、こいつ〜俺は取材に来ただけなのに)。いつの間にかリーダー兼ガイド役に仕立て上げられるのだけど、「お〜し、次行くぞ〜」と子供たちに向かって、号令をかけていた。

- 01/皆でトラックの荷台に乗り込んで、さあ出発!
- 02/大きな葉っぱで、日よけ傘を作ってみた
- 03/大きなカエルも手づかみしちゃう
- 04/見つけたものを、小さい子に見せてあげるお兄ちゃん
- 05/ストーンバスは村人たちの憩いの場所にもなっている。地元の子供たちと出会った

道を歩くだけでも、色々な発見がある

「観る」 森



01



02



03



04

大ちゃんに頼るのを諦めて、ヤップ人のバサンちゃんにガイドをお願いした。バサンちゃんは、ライズのご意見番みたいな人で、薬剤師でもあり、植物や果物に関する知識は普通のヤップ人以上のものを持っている。僕も足を痛めたときに、薬草で治療してもらった経験がある。もちろん子供たちには、基礎中の基礎を教えるだけなのだけど、それだけでも子供たちは大喜びだ。

まずは、ピンロー樹の実を取るために、細い幹を登る方法を子供たちに伝授する。両足を、バンダナスの葉っぱを輪っか状に結んだものを通して、木にしがみつくと。見本を見せてくれたヤップ人はスイスイと登って行くのだけど、とにかく滑り易くて、皆悪戦苦闘。それでもおもしろがって子供たちは、何度も何度もチャレンジしていた。

バサンちゃんに連れられて、ジャングルの中で採ったのはサトウキビ、タロ芋、スターフルーツ、マンゴー、ヤシの実、パッションフルーツ、バナナ、パンの実、そして珍しいフットボールフルーツ。これほとんど全部ジャングルに自生しているもの。日本では、スーパーマーケットで手に入れるものを、自分たちで採取して、その場で味わう。そんな楽しさが、子供たちを自然に笑顔にさせる。

「こんな風に乗ってんだね〜」「こんな味がするんだね〜! おいし〜!」と子供たちは、感動しっぱなし。

そんな事をしている間に、大きな子供たちは、自然に小さな子供たちの面倒を見始めていた。小さな子供たちは大きな子供たちのやることを、一生懸命真似しようとしていた。

登って、採って、  
自分で手にする楽しさと喜び



06



07



08



09



10

森  
「採る」

05

- 01/珍しいフットボールフルーツを見つけ  
て大喜び
- 02/バサンちゃんからココナッツをもらう
- 03/小さい子もココナッツに興味津々
- 04/大きな子が自然に小さな子の面倒を  
見るようになっていた
- 05/ピンローの木によじ登ろうと、必死に  
なる子供たち
- 06/サトウキビをかじる!
- 07/サトウキビ、固いけど、あま〜い
- 08/集めた果物を、ヤシのカゴに集める子  
供たち
- 09/タロ芋を引き抜くのは、大きな子供の  
役目
- 10/タロ芋の、食べれる根っこの部分





ワチュラブ村の目の前には、遠浅の海が広がっている。かなり沖まで歩いても、大人なら腰くらいまでの深さが続く。そんな浅い海にボートを出して、天然の巨大なプールに子供たちは、次々に飛び込んで行く。一緒に来たお父さんに促されるように、海へジャンプ!

外洋とは、サンゴのリーフで隔たれているから、安心して子供たちを遊ばせることができる。まだ泳げない子供たちは、浮き袋やゴムボートで。海中の浅い砂地には、サンゴが成長していて、その中をトピカルフィッシュたちが、元気に泳ぐ姿を観察することができる。

そして今回、ワチュラブ村の前に広がる浅いリーフで、小学生以上の子供たちが、ローカルスタッフの指導を受けながら、モリで魚突きにチャレンジした。最初はなかなか難しくまたまた悪戦苦闘、しかし、皆夢中になって、必死になって魚を探しまわり、どうにかこうにか、リーフフィッシュをゲット!大喜びでボートに戻ってくると、すでにカゴの中には、ヤップ人スタッフが捕まえた魚たちでいっぱいになっていた。「すっげー!どうしたら、こんなに穫れちゃうの?」と子供たちは、自分のふがいなさに、再度マスクを被って、魚を探しに出かける。

最後には、魚のさばき方も教えてもらって、自分たちでもチャレンジ。自分で食べるものは自分で獲る!自分でさばく!そんなナチュラルな生活が、とても新鮮で、楽しく感じられるんだ。中には「ごわい」と言って遠巻きに、魚をさばく様子を眺める子もいたけどね(笑)。

「泳ぐ」**海**

青く透明な海を、思いっきり満喫!

お父さんとお母さんに見守られながら、海へジャンプ!





01/こんな魚が獲れるんだよ！  
 02/まずは、ボートの周りで獲物を探す  
 03/モリを持つ姿も様になってきた  
 04/シャコ貝まで、獲ってきたよ！



05/よし、やった！ヤップ人スタッフに教えられながら魚をゲット！  
 06/スノーケルもだんだん上手になってきた  
 07/ほら、こんなロブスターも！  
 08/魚をさばくのも、自分で体験



09/魚をさばくのも、自分で体験

青く透明な海を、思いっきり満喫!

**YAP RIZE KIDS**  
 Web-lue 2010. Winter

# 「潜る」海

## 本当にマンタが見れた!

今回のメインイベントとも言える、子供たちの体験ダイビング。ここに来て、やっと我らがガキ大将、大ちゃんの出番だ。「お～、やっと俺の出番が来たか～!よ～しバリバリ行くぞ～」とドスの効いた声で、子供たちに機材を用意して、ボートでダイビングポイントへ。

向かった先はマンタが出ることで有名なミルズチャネル。ボートで約15分。まずは、船上で機材の説明や、ダイビングの注意点などのブリーフィングを行なう。陸上では超適当な大ちゃんも、ダイビングの事になると、ちょっとは真剣? 本当にちょっとだけだね。

「もしかしたらマンタが見れるかもしれないぞ～」と伝えてゆっくりとエントリー。ダイビング中は、大ちゃんははじめ、ガイドたちがしっかり子供たちの手をつないでくれる。ばたばたと立ち泳ぎ状態だけど、子供たちは水中での浮遊感を楽しんでいた。子供たちの親は、一緒に潜りながらその様子

を伺っていた。

小さなリーフフィッシュを見たり、ギンガメアジの群れを見たり、大きなサメを見たり、カメを見たり、流れに乗って、ゆっくりゆっくりと移動していく。少しずつ、心の余裕が出て来た頃、そこへ突然姿を見せたのが、マンタ! ナイスタイミング! 丁度皆が見られる距離をマンタがゆっくりと移動していった。

「どうだ!面白かったか～!?!」と大ちゃんが訪ねると、「すごい!面白かった!!」。「マンタ、本当に見れるとは思わなかった～!感動～!!!」。「俺、ダイビングのライセンス取りたいっす!!」と船上に戻ってからは、皆目を輝かせて初めてのダイビングの感想を語っていた。

そして、2度目の体験ダイビングにチャレンジする子、短い滞在中に、ダイビングの講習を受ける決心をした子。皆がダイビングの楽しさを満喫していた。



- 01/まずは、機材を合わせる
- 02/ボート上でブリーフィング
- 03/ガイドと手をつないで海中へ
- 04/空には虹が!
- 05/皆の前にマンタが現れた!

# YAP RIZE KIDS





01



05



02



06



03



07



04



08

体験ダイビングでも  
大いに楽しめる、ヤップの海



海  
「潜る」

体験ダイビングが行なわれるのは、バリヤリーフで守られた内湾。ヤップの海では、どんな物が見られるかという、まずはマンタ。マンタは外洋と内湾をつなぐチャネルで見ることができる。ヤップでは、体験ダイビングで、今回みたいにマンタを見れる可能性が非常に高いんだ。

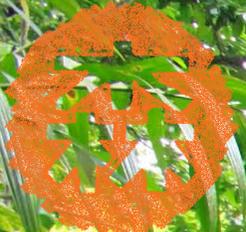
その他にも、カラフルなトピカルフィッシュや美しいサンゴ、群れる魚たち、ときには巨大なうづぼや、グレーリーフシャークなんていうサメも見れたりするけど、ちょっとい出さなければ。何もしないから大丈夫。

何と言っても、やっぱりマンタが見たい!

- 01/ヤップには、美しいリーフが広がる
- 02/ニシキヤッコも良く見かける
- 03/かわいらしいマンジュウイシモチ
- 04/サンゴの上にリーフフィッシュが群れる

- 05/サンゴも元気に成長中
- 06/リーフトップにシマハギの大群が
- 07/巨大ウツボが岩の間から顔を覗かせる
- 08/外洋では、グレーリーフシャークも見られる





「作る」



## 親も楽しい ヤシの葉のカゴと、ヌーヌー作り

海から戻ると、またまたジャングルへ。そこでヤシの葉のカゴ作りや、ヌーヌーと言われる花輪作りなども教わった。素材もそこらへんのジャングルに自然に生えているもので作るから、教室で教わるとかじゃなくて、「じゃ〜この辺で、ちょっとヤシの葉でカゴを作ってみよう」というバサンちゃんのかげ声の元、ストーンパスの路上でヤシの葉のカゴ作り教室が始まる。

「これに、沢山のフルーツを入れて、持って帰るんだ」  
小さな子供たちは、作ってもらった大きなカゴを抱えて大喜

び。大きな子供たちは、採ったフルーツをそのカゴの中に、少しだけ詰めてあげた。

ワチュラブ村に戻ってからは、今度はヤップ人スタッフが用意してくれていた花束の前に、車座になってヌーヌー作りを体験する。柔らかくするために一度煮込んだ葉っぱを土台にして、カラフルな花を一つずつ丁寧に結びつけて行く。皆真剣だ。

小さな子供たちは、お母さんと一緒に作ったヌーヌーを嬉しそうに頭に被って、ご満悦。

01 作ってもらったヤシのカゴに果物を入れて運ぶ  
02 ヌーヌー作りに真剣に取り組む  
03/04 作ってもらったヌーヌーを被り、ご満悦  
05 路上で、ヤシの葉作りが始まった

**RIZE**  
**KIDS**



## 疑問や感動が、感受性に大きな影響を与える

ジャングルで見たものは、伝統的なストーンマネー。「こんなに大きな石のお金がまだ使われているなんてすごい!」。「それも、パラオから運んで来たなんて、なんでそんな面倒な事したんだろうね」とこれまた、子供たちには色々な疑問や感動がわき出してくる。そういう単純な疑問や感動が、子供たちの感受性に、大きな影響を与えているのだと感じた。

伝統的な建物、メンズハウスの中では、パサンちゃんがちょっとした教室を開いてくれて、ストーンマネーや、メンズハウスが何のために使われていたかを教えてくれた。

そしてパサンちゃんの村では、村の子供たちが伝統的なヤップダンスの練習をしていて、それも見学させてもらった。子供たちがヤップのワチュラブ村に集まって体験したこ

とは、概ねこんな感じ。決められたスケジュールをこなすのではなく、そのときの気分や天気の状態で行ったり、ジャングルに探検に出かけたり。沢山の子供たちが集まって、苦手な事もあるけれど、お互いが助け合いながらヤップの自然と向かい合って、何かを感じ、何かを学んで行く。子供たちの心は、間違いなく成長したと感ずることができた。

年齢が違ったのも良かったのかもしれない。皆同じ年齢よりも、子供たちがお互いを尊重しあい、助け合いながら色々な事を経験していく姿は、親から見ても、とても微笑ましいものだった。

これがヤップライズのやりたいキッズプログラムなのかどうかは定かではないけど、こんな感じで子供たちがワチュラブ村に集まって、ヤップの自然を満喫できたらいいのにお。

## ヤップライズダイビングセンター

Yap Rize Diving Center



子供たちが集まったのは、ヤップのワチュラブ村にある、ヤップライズダイビングセンター。前々から、極力自由な形、自分たちのスタイルでキッズプログラムを行いたいと思っていた。

今回の記事は、100%その内容を伝えているものではないかもしれないけど、きっと同じような楽しい日々を子供たちが過ごせるのではないかと思っている。

01/ヤップの子供たちの伝統的ダンス、バンパーダンス

04/メンズハウスで、ヤップの話を聞く子供たち

02/村で行なわれている練習を見学

05/メンズハウスってこんな風になるんだね

03/伝統的なバンパーダンス

06/今も特別な祭事には使われるストーンマネー

07/ストーンマネーの大きさに子供たちもびっくり

# YAP RIZE KIDS

Web-lue 2010. Winter



Information Link  
<http://www.rizedivingcenter.com/JP-RIZE-Web/index.htm>

関連情報HPへ